第 117 号
2024 年（令和 6 年）
8 月

たけはら 市民と議会

http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/

目次

特 集 …… 2
採決の結果…… 4
主な議案…… 5
意見書…… 6
一般質問…… 7
政務活動費収支報告 9
編集後記……10

特集 竹原の名産品を全国に届けたい!!

▲郷土産業振興館のスタッフ

特集

平井議員・村上議員が聞く

竹原市郷土産業振興館

特産を活かした商品開発で、竹原市の一次産業を盛り上げたい。熊本県から移住され、郷土産業振興館で働かれている地域おこし協力隊の平野さんにお話を伺いました。

Q いつオープンされましたか？

平成30年（２０１８年）12月です。

Q 今までどのようなことを行ってきましたか？

竹原でとれた鮮魚の加工、販売、市内のこども園や飲食店への出荷、竹原市内や広島市内（そごう、三越、フードフェスティバル、マツダスタジアム）でのイベント出店、市内のタケノコやジャガイモを使った加工品販売、峠下牛を使用した加工品販売等々を行ってきました。

Q 現在はどのような事業をしていますか？

竹原産鮮魚の加工・販売、農産物の加工・販売などの事業をしています。

竹原市郷土産業振興館
平野 啓太さん

Q 指定管理となったことでどのような変化がありましたか？

自分たちで案を出しながら、スピーディに取り組むことができるようになりました。より漁協と協力して販路拡大、加工品開発に力を入れていけるようになりました。

Q 力を入れている取組は何ですか？

加工等に力を入れ、鮮魚等市内でとれた鮮度の良い食材を多くの人に知ってもらい、食べてもらうことに力を入れています。

Q やりがいがあると感じたことは何ですか？

購入者の皆さんから、「美味しかったよ」「また買いに来るよ」と喜んでいただいた時に、やっていて良かったなと感じます。また喜んで頂けるように、これからももっと良い商品の開発、提供に取り組もうと思っています。

Q 課題と感じていることは何かありますか？

少子高齢化などの様々な社会現象で、水産・農産共に、漁業者や生産者が年々減少しており、それに伴い漁獲量・収穫量が減少しているので、いかに漁獲量と生産量を上げていくかが直近の課題と感じています。

Q 今後、どのようなことをやっていきたいと考えておられますか？

瀬戸内、竹原には大変美味しい食材がありますので、その食材を活かした加工品販売、付加価値をつけた竹原産の鮮魚の販売、販路開拓に益々力を入れて、取り組んでいこうと考えています。

▲竹原市近海で獲れた鮮魚▶

●令和6年第2回定例会　議案概要・採決結果

令和6年6月18日～令和6年6月28日　○は賛成　×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員会付託	平井	村上	蕎麦田	下垣内	今田	山元	高重	堀越	川本	大川	道法	吉田	宇野	松本	議決結果
報告第２号	令和５年度竹原市一般会計繰越明許費繰越計算書について	令和５年度予算のうち令和６年度へ繰り越した経費について報告するもの		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	原案報告
報告第３号	令和５年度竹原市一般会計事故繰越し繰越計算書について	令和５年度予算のうち令和６年度へ事故繰越しした経費について報告するもの		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	原案報告
報告第４号	令和５年度竹原市下水道事業会計予算繰越計算書及び令和５年度竹原市下水道事業会計継続費繰越計算書について	令和５年度予算のうち令和６年度へ繰り越した経費について報告するもの		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	原案報告
報告第５号	損害賠償額の決定について	接触事故等について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	原案報告
報告第６号	竹原市税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴う竹原市税条例の一部改正の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案承認
報告第７号	竹原市国民健康保険税条例の一部改正について	地方税法施行令の一部改正に伴う竹原市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	退席	原案承認
報告第８号	竹原流通センター株式会社の経営状況について	竹原流通センター株式会社の経営状況について報告するもの		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	原案報告
議案第43号	竹原市教育委員会教育委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市教育委員会教育委員 平田 和也 委員は、令和６年６月20日をもって任期満了につき、その後任委員の任命について、議会の同意を求めるもの（永福まどか氏）	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案同意
議案第44号	工事請負契約の変更契約の締結について	竹原市庁舎移転事業　竹原市新庁舎（旧たけはら合同ビル）大規模改修等工事において、労務単価の高騰の影響等に伴い、請負契約の変更契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	○	原案可決
議案第45号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	竹原市社会福祉法人等指導監査嘱託員の報酬の額を改めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	竹原市税条例の一部を改正する条例案	地方税法の一部改正に伴い、寄附金控除の対象に公益信託の信託事務に関連する寄附金を追加するなどするもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	竹原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、児童福祉施設等における職員配置の最低基準が改められたことに伴い、必要な規定を整備するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	竹原市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例案	広島県及び県内市町が共同で策定している地域再生計画が変更され、事業者の認定期限が延長されたことに伴い、必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	令和６年度竹原市一般会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ182，228千円を増額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
発議第6-5号	地方財政の充実・強化に関する意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決
発議第6-6号	特別委員会の設置について	公共施設ゾーン再整備のあり方を検討するため公共施設ゾーン再整備調査特別委員会を設置するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決

…主な議案…

議案第44号　工事請負契約の変更契約の締結について

・内　容／竹原市庁舎移転事業竹原市新庁舎（旧たけはら合同ビル）大規模改修等工事の請負契約の変更契約を締結しようとするもの。

・質　疑／労務単価や建築資材の価格上昇に伴い、物価スライドを適用する必要が生じていることとともに、文化創造ホールの展示用パネルの更新のために増額するとされているが、この1年でどれだけの労務単価の上昇があったのか。

・答　弁／全国の労務単価上昇率などを加味して計算しており、令和5年度においては22,227円だったものが令和6年度は23,600円となり、106.1％の上昇率となっています。

議案第49号　令和6年度竹原市一般会計補正予算（第1号）

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

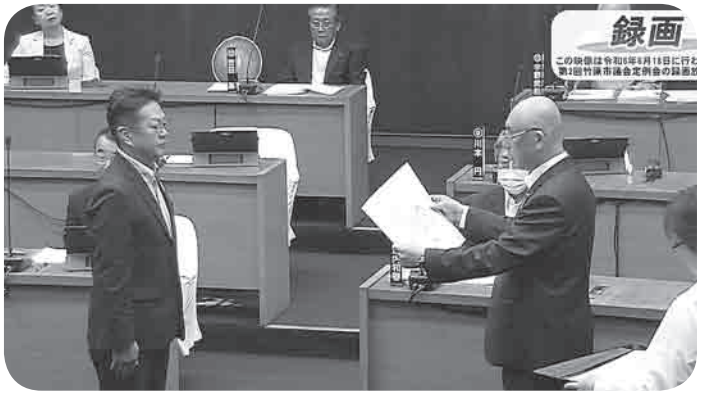
・内　容／新型コロナウイルス感染症罹患時の重症化を予防するため、ワクチンの予防接種を行う。

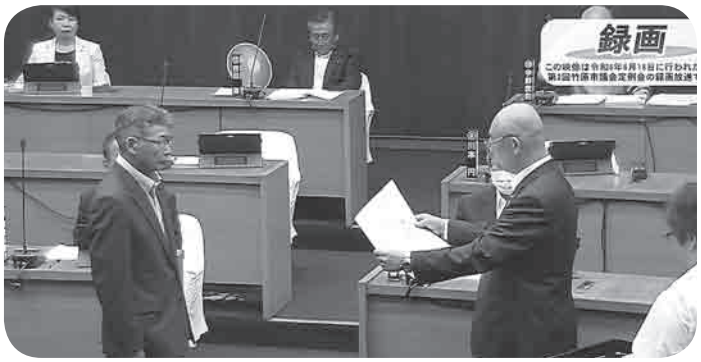
・質　疑／接種対象者の見込みについて、どのように積算されたのか。

・答　弁／新型コロナウイルスが第5類に分類されたこともあり、特に高齢者のインフルエンザ接種者の過去3年の平均データをみて、積算しています。

令和６年度全国市議会議長会表彰

令和６年度全国市議会議長会の総会において、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績による議員表彰があり、在職15年の堀越賢二議員、川本円議員が表彰され、６月18日、議場にて表彰状の伝達式を行いました。





意見書　地方財政の充実・強化に関する意見書

今、地方公共団体には、急激な少子・高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、感染症対策、DX化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたり新たな役割が求められる中、自治体システムの標準化や多発化する大規模災害への対応も迫られています。政府はこれまで「骨太方針2021」に基づき、令和3年度の地方一般財源水準を令和6年度まで確保することとしてきました。しかし、増大する行政需要を鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。

このため、令和7年度の政府予算、また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から一歩踏み出した地方財政が確保されるよう、以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を把握するとともに、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実を図ること。
2. とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。特に、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正に向けては、国税の一部を地方税へ税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 「地方創生推進費」として確保されている1兆円については、現行の財政需要において不可欠な規模となっていることから、恒久的財源として、より明確に位置付けること。また、交付に当たっては、標準的な行政水準を確保するという地方交付税制度の趣旨に沿った算定を行うこと。
5. 会計年度任用職員においては、令和6年度から勤勉手当の支給が可能となったものの、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き、その財政需要を十分に満たすこと。
6. 特別交付税の配分の算定にあたっては、諸手当等の支給水準が国の基準を超えていても地方自治体の自己決定権を尊重し、特別交付税の減額措置は行わないこと。
7. 自治体業務システムの標準化・共通化に向けては、その移行に係る経費と移行の影響を受けるシステムの改修経費まで含め、デジタル基盤改革支援補助金を拡充するなど、引き続き必要な財源を保障すること。また、DX化に伴い、地方において、システム改修や事務負担の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。
8. 地域の活性化に向けて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとともに、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実を図ること。
9. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和6年6月28日

広島県竹原市議会

高重（たかしげ）　洋介（ようすけ）

●公共施設ゾーン再整備検討事業について
●一般社団法人 まちづくり機構について

質問　本年4月に竹原市は消滅可能性自治体として中国地方でもトップに挙げられ、また竹原火力3号機は2030年に廃止または休止となり、今後これまで以上に人口が減少し、財政的にも大変厳しくなるであろうと考えます。

そのような中で70億円～80億円かかる複合施設が本当に必要であるか、市民の負担にならないのか、市長のお考えをお伺いします。

答弁　**市長**　全員協議会にて破産管財人からの寄附の申し出とこれまでの検討を踏まえ、官民連携手法の活用や事業内容の精査により、縮減していかなければならないと考えます。他の自治体と同様に人口減少が続き、今後も厳しい情勢が見込まれる。人口減少や賑わい・活力の低下に少しでも歯止めをかけるために、危機感を持って取り組まなければならないと強く感じています。

質問　先年8月23日、竹原港への外航クルーズ客船誘致に向けて東京都の海運会社で交渉の際、プレゼンテーションを行うため、タネットへにっぽん丸誘致PR動画の製作を依頼していますが、支払いはどのようになっていますか。

また、この誘致に関わった竹原市地域振興アドバイザーの伊藤智禧氏はいつ誰がどのような経緯で任命したのかお尋ねします。

答弁　**市長**　プロモーション動画については、令和5年度観光プロモーション事業の一環として同社から見積書を徴したうえで発注し、請求書に基づき支払っております。また、企業を訪問する際、当該本人から竹原市または竹原観光まちづくり機構の立場で参加したい要望を受け、アドバイザーの肩書を付した名刺を用意したものであります。

質問　誘致PR動画の支払については適切に支払い済みだが、竹原市地域振興アドバイザー伊藤氏の請求60万円の支払いは未払いだが。

答弁　**市長**　内訳明細等について資料の提出をお願いしていますが、現在まで相手方から内訳の資料の提出がない状況です。資料の提出がないことから、支払いができていない状況です。

松本（まつもと）　進（すすむ）

●本郷産廃場の汚染排水から市民の命・健康を守る竹原市行政とは
●市道側溝の管理について　●市観光行政について

質問　本郷産廃場排水の水質調査（5／31・6／7）は排水基準値を超えていました。この事態の解明・分析、汚染源除去の対策を実施すべきです。

答弁　**市長**　これまで広島県や三原市から、基準値を超過する旨の報告は受けていません。

質問　どの場所から採取して検査したのですか。

答弁　**市長**　県の採水場所は非公表です。三原市は日名内川ですが、採水場所の詳細は把握していません。

質問　本郷産廃場からの排水が竹原市側に流れる山林が伐採されていました。水源汚染の防止対策をどのように実行されますか。

答弁　**市長**　排水が本市に流れる場所の開発は承知しています。県は、許可を得た範囲内で行う工事の状況を報告する義務はなく、把握はしていません。

質問　実効ある竹原市水源保護条例の早期制定を強く求めます。

答弁　**市長**　三原市の条例の効果などを注視し、検討したいと考えます。

質問　蓋を設置している市道側溝の道路雨水の排水機能はどのように管理していますか。

答弁　**市長**　側溝の劣化や破損等により、本来の機能が損なわれた場合は補修や修繕をしています。

質問　市道本川向島線の側溝改修工事の一部中断は、いつ頃再開されますか。

答弁　**市長**　現在、本川排水区の整備を優先的に実施しており、順次整備する予定です。

質問　竹原DMOが「連携」業務の発注で業者の選定や入札・業務委託の実施と市行政の公平・公正性の担保はどのようになりますか。

答弁　**市長**　DMOの外部委託は、専門的知識やノウハウを有し、市公募の参加の実績・プロポーザル等により業者を選定しています。

質問　大型客船誘致活動に伴う㈱エイピックへの支払いと謝罪を市長の責任で行うべきではないですか。

答弁　**市長**　DMOは、同社に内訳明細書等の資料を求めており、現在提出がなく、お支払いできません。

宇野（うの）　武則（たけのり）

●庁舎移転経費の内創建ホーム経費について
●市営住宅管理について　●区画整理事業について
●（旧）ゆめタウン問題について

動画

質問　創建ホーム㈱三原営業所は市外。500万円公金支出の法的根拠は何か。

答弁　市長　地方自治法第232条2、地方公共団体は公益上必要がある場合において、寄附又は補助することができます。

質問　行政圏外である三原展示場の改装費を支出したが、本市の公益上の利益は何か。

答弁　市長　創建ホーム本社建設前に本店機能を仮移転していただくことで、本市の財政負担軽減と庁舎移転早期進捗につながることから、公益上必要と判断したものです。

質問　ゆめタウンが年末を控え、閉店したことは異例と思いますが、市長の認識は。

答弁　市長　建物の耐震性の問題から、お客様と従業員の安全を考慮し、閉店を決断されたと伺っております。

質問　建物解体費（市負担）2億円と説明。積算はどこがされたのか。

答弁　市長　破産管財人からの聞き取りや福祉会館の解体を参考にしました。

質問　ゆめタウン店内はアスベストが使用されていると伺っている。その場合、解体費は倍額以上になるが、その負担は。

答弁　市長　破産手続きにおいて調査し、飛散性のアスベストはないと伺っている。

質問　ゆめタウンと抱き合わせ購入の駐車場の固定資産税は、どのように処理されているのか。

答弁　市長　破産手続きの法人に係る市税の内容は、税務情報につき回答は控えますが、一般的には手続き終了時に優先的に弁済されると考えております。

質問　市内では小学校、保育所、幼稚園、出張所等々地域には欠かせない公共施設が統廃合された。ゆめタウン跡地購入の整合性はどこにあるのか。

答弁　市長　公共機能の充実と民間機能の誘導により、多くの人が集まり、交流を生み出す空間を創出させます。

質問　地権者は市長の親類であり、選挙の後援会長と伺っているが問題ないのか。

答弁　市長　地権者は私の親類にあたるが、再整備は市民ワークショップや専門的知見から決めたものです。

村上（むらかみ）　まゆ子

●子育て支援の拡充について
●地産地消の取組状況」と
「有機農産物を使用した給食」について

動画

質問　物価高騰が続き、経済的にも苦しい今、子ども達へのおむつ定期便の導入も考えていただきたいと思いますが、市の考えをお伺いいたします。

答弁　市長　昨今の少子化や物価高騰のもと、複雑・多様化しつつある子育てへの課題に対応するため、おむつ等の無料配付による経済的支援を行いつつ、乳幼児や保護者への定期的な訪問を通じて、産後うつや子育てへの不安解消、孤立の防止につなげることで、誰もが安心して子育てできる環境づくりに一定の効果が望める事業として実施されているものと認識しております。

今後におきましても、時代に即応し、子育て世帯に寄り添った事業が求められることから、他市の先進事例も参考にしながら、効果的な取組について検討してまいります。

質問　R4年度の時点で、全国137自治体で有機農産物が学校給食で使用されています。

有機農産物を使用した学校給食について、市のお考えをお伺いいたします。

答弁　市長　地産地消の推進につきましては、農産物の生産振興及び担い手の育成など本市の農業の活性化を図るとともに、食育と連携することで、郷土愛の醸成を深める効果も期待できる取組と考えております。

本市の農産物の魅力を消費者や小売業者に発信するとともに、地場農産物のさらなる消費拡大につなげる取組を実施し、地産地消の推進及び農業の持続的な発展に取り組んでまいりたい。

答弁　教育長　有機農産物を使用した学校給食につきましては、環境に配慮した農業が行われるため、SDGsの推進にも寄与するものと考えております。

栽培管理に手間がかかることなどから、販売価格が国産の標準的な産品と比較して高価格で流通しているとともに、市内において有機農産物の登録認定を受けている農業者はいないが、今後における有機農産物の販売価格や流通量を踏まえながら、検討を進めてまいりたい。

令和5年度の各議員の政務活動費収支報告

●令和5年度 政務活動費支出状況

(単位：円)

議員名	交付額	使用内容	執行額計	差し引き返納額
平井　明道	240,000	研究研修費…… 7,000 調査旅費…… 5,040 資料作成費……122,716 資料購入費…… 67,199	201,955	38,045
村上まゆ子	240,000	研究研修費…… 13,770 調査旅費…… 22,190 資料購入費…… 1,000	36,960	203,040
蕎麦田俊夫	240,000		0	240,000
下垣内和春	240,000		0	240,000
今田　佳男	240,000	研究研修費……239,000 調査旅費…… 1,000	240,000	0
山元　経穂	240,000		0	240,000
高重　洋介	240,000		0	240,000
堀越　賢二	240,000		0	240,000
川本　　円	240,000		0	240,000
大川　弘雄	240,000		0	240,000
道法　知江	240,000	資料購入費…… 4,620	4,620	235,380
吉田　　基	240,000	研究研修費…… 56,398	56,398	183,602
宇野　武則	240,000	資料作成費…… 33,141	33,141	206,859
松本　　進	未申請			

- すべての項目について、収支を証明する領収書が添付されています。
- 閲覧を希望される方は議会事務局へご連絡ください。
- 各議員の執行状況等について、市議会HPからも閲覧できます。

議会のうごき

4月２６日　民生都市建設委員会
5月１７日　全員協議会
5月２７日　議会運営委員会
5月２１日　徳島県阿南市議会来庁
5月２２日　全国市議会議長会定期総会
5月２７日　議会運営委員会
5月３１日　総務文教委員会
6月　５日　民生都市建設委員会
6月１３日　議会運営委員会
6月１８日　本会議
6月２０日　総務文教委員会
6月２１日　民生都市建設委員会
6月２４日　本会議
6月２５日　本会議
6月２８日　議会運営委員会
　　本会議
　　公共施設ゾーン再整備調査特別委員会
7月　２日　広島県中央環境衛生組合議会施設見学会
7月１０日　山口県山陽小野田市議会来庁
7月１９日　公共施設ゾーン再整備調査特別委員会

※この間、広報広聴委員会を２回開催しました（6/18,7/16）。

特集 竹原市郷土産業振興館

▲郷土産業振興館で加工した商品

《特集後記》

今回、取材させて頂いた【郷土産業振興館】は、竹原市の特色のある産品開発と衰退する一次産業のカンフル剤として、国の全国公募で竹原市が選定され、国からの補助金等を用いて平成30年3月に建設されました。

魚や肉の鮮度を保ち、消費電力が少ない急速冷凍機を導入し、ふるさと納税の返礼品を全国に発送しています。

取材をする中で、今後の売り上げもまだまだ伸ばせるなと感じました。更に良い商品を開発して頂き、収入を増やし、一次産業者の所得アップに繋げてもらえたらと思います。本市は、水産、農業ともに生産者が年々減少しています。他市町のように燃料代等の補助金を出してもらえるように声をあげ、産業者の所得を上げて担い手が増えるように、竹原市議会としてもしっかりサポートしていけたらと心しました。

平井　明道

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。

市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP　＼検索／　竹原市議会

次回定例市議会は、9月上旬からの予定です。
みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

6月定例会には、労務単価や建設資材費の価格上昇に伴い、竹原市新庁舎移転事業における議案である「工事請負契約の変更契約の締結について」や国において家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴う「竹原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」、「令和6年度竹原市一般会計補正予算案（第1号）」等、市民生活に関連した7つの議案が提出され、慎重審議の結果、全議案が可決されました。

一般質問は庁舎跡地の再整備について、観光を振興するためのまちづくり機構について、本郷産廃処分場からの排水に対する竹原市の対応について、市営住宅の管理と有効利用について、子育て支援の拡充について等、こちらも市民生活に密着した質問がされました。

市議会は市民生活に身近なものですので、市民の皆様には竹原市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。

蕎麦田　俊夫

「広報広聴委員」◎委員長 ○副委員長
◎村上まゆ子　○平井　明道
蕎麦田俊夫　今田　佳男
堀越　賢二　宇野　武則